



あとむ

姫路科学館友の会会報 第188号〈2024年1月〉(友の会事務局発行)

🎉明けましておめでとうございます🎉

いつも当会をご活用くださり、誠にありがとうございます。昨年は250名さまにご入会頂きました。2024年も引き続き、どうぞ宜しくお願いいたします。皆さまにとって良い一年になりますように。

? 会員証を紛失、お忘れの会員さまへ

当会では会員証の再発行ができないため、受付にて仮会員証を発行させて頂いているのですが、本年より、プラネタリウム入口でも、お名前とご観覧数を控えさせて頂くこととなりました。少しお時間がかかることになるとは思いますが、ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

(友の会会長 上田倫範)

🌸 花の歳時記 「スイセン」(ヒガンバナ科)

冬から春にかけてラッパ状の花を咲かせる地中海沿岸原産の球根植物です。写真のスイセンは、ニホンズイセン(日本水仙)という種類で、平安時代末期に中国から渡ってきました。日本では、関東以西の比較的暖かい海岸近くの湿り気のある場所で野生化し、群生しているのが見られます。福井県の越前海岸や兵庫県南あわじ市の灘黒岩水仙郷等の群生が有名です。



この花は芳香性が高いため、天然香料として香水の原料にもなっています。松尾芭蕉は、この様を「そのにほひ 桃より白し 水仙花」と、俳句に詠んでいます。また雪解けの時期に花を咲かせるところから「雪中花」の別名があります。

(友の会理事 古角孝之)

📖 館長の科学館だより 姫路科学館近況 令和6年1月

明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。昨年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、行動規制が解除され、姫路科学館開館30周年を気持ちよくスタートすることができ、自由参加の科学教室や化石タッチングも復活しました。

振り返れば新薬の開発には時間がかかり、日頃から基礎研究の大切さを思い知らされた時期でもありました。これからも新型コロナウイルス感染症の教訓を忘れず、安全で安心して施設を利用して頂けるよう、より愛される科学館に育てて参りますのでよろしくお願いいたします。

(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)

【目次】 🎧 [P1] 会長挨拶(友の会会長 上田倫範)、花の歳時記(友の会理事 古角孝之)、館長の科学館だより(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎) 🎧 [P2] ヤマガラ通信(西播愛鳥会・日本野鳥の会会員、元姫路科学館専門員 森田俊司) 🎧 [P3] 地球と生命の歴史(姫路科学館 学芸・普及担当課長補佐 徳重哲哉)、「科学の足あと」シリーズ(元姫路科学館 吉岡克己) 🎧 [P4] 南阿蘇からのお便り(南阿蘇ルナ天文台 福澄孝博) 🎧 [P5] Starry Night Story(姫路科学館 中島輝久) 🎧 [P6] 科学のタネ(姫路科学館 学芸・普及担当係長 安田岳志)、よしだ君の話(吉田航希)